



かつうら

第 38 号 昭和 48 年 8 月 1 日

町民のうごき

世帯数	1,946	男	4,155	
人口	8,433	女	4,278	
		男	女	計
出生	4	6	10	
死亡	1	4	5	
転入	6	6	12	
転出	20	10	30	

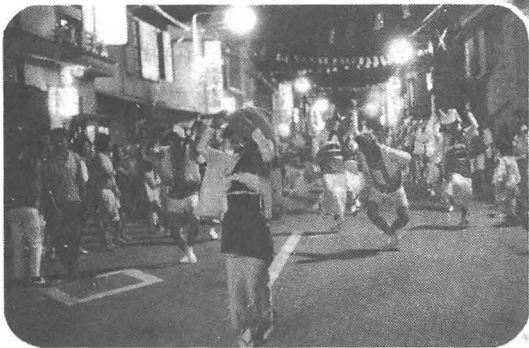
昭和48年7月1日現在

発行所 徳島県勝浦郡勝浦町



水泳でからだを鍛えましょう

暑さもわすれ阿波踊り



暑中お見舞

申し上げます

きびしい暑さが続きますが、町民のみなさんにはお元気で過ごしてでしょうか。心からお見舞申し上げます。

阿波の夏、それは熱狂のリズム阿波踊りが象徴です。ことしも、みなさんのお元気を踊り姿を見せてください。

子どもさんには、水に親しみ、からだを鍛える楽しい季節です。家族はもとより隣近所で気をつけ合って、事故のない快適な夏にしてください。時候柄なおいっそうのご自愛お祈りします。

昭和四十八年盛夏

- | | |
|------|--------|
| 勝浦町長 | 堺 福一 |
| 助 役 | 小 西 兵二 |
| 収入役 | 仲 野 英正 |
| 議会議長 | 平 忠 |
| 副議長 | 山 本 圭一 |

おもな内容

- 議会だより……………(1)
- 風水害に備えて……………(2)
- 避難場所と経路の確認を……………(3)
- 「妊娠」一般健康診査受診票……………(6)
- うんしゅうみかん摘果……………(4)
- 今月の農作業メモ……………(5)
- の交付……………(6)
- 岡目八目……………(7)

議会だより

★六月定例会★

一般会計補正予算^ほか八件^お議員提案の意見書三件可決^お議会各常任委員および勝浦川総合開発特別委員改選

六月定例会は、六月二十一日開会し、六月二十六日閉会しました。この議会では、町長から提案された議案九件、および議員定案による議案三件いずれも意見書を可決。

また、本定例会に提出された陳情書については、三件を採択二件を閉会中の継続審査とした。

このあと、各常任委員会の委員任期満了による改選、および勝浦川総合開発特別委員の改選を行なった。

以下要点を列挙すると、つぎのとおりである。

△昭和四十八年度一般会計補正予算、追加額三一、五四五千円、主たる事業は、同和对策事業費二五、〇六二千円。

△議員提案(意見書)

一、同和对策事業に関する意見書、提出先、総理大臣ほか十一名、要旨は、全ての同和对策事業の実支出額を補助対象額とするとともに、大幅な補助率の引き上げ、および、同対法第十条適用事業に採択されたい。

二、公共料金の改定に関する意見書、提出先、総理大臣ほか四名、要旨は、電気、ガス、運賃

その他、公共料金の値上げは国民生活に与える影響をじゅうぶん考慮し善処されたい。
三、地域医療を守るため国保診療施設等市町村立病院の財政措置の強化について、提出先、大蔵大臣ほか二名、および、ハガキ運動二十五名。
要旨は、町村立病院の累積赤字額を解消するとともに、今後の経営安定を図るため、国は特別立法により強力な財政措置を講ずること。
つぎに本定例会における議員の町政に対する一般質問は、町長病欠のため、小西助役に行なった。概要はつぎのとおりである。
七月四日
坂口貞雄議員
(一) ゴミ公害とその対策について
(二) ジュース工場の誘致について
(三) 農業センターのあり方について
西浜勝己議員
(一) 公害防止対策について
(二) 四国放送UHFの誘致について
(三) スポーツ振興対策
若木肇議員
(一) みかん産業に対する町長の



値上がりする給食

発育盛りの子ども達に、栄養を考慮し、しかも、魅力ある学校給食をというところで、昭和四十年九月開設いたしてから八十年になります。この間、学校の諸先生方をはじめ、ご父兄のみ

学校給食費が改訂なります

九月より
小学校八〇円(月額一、四五〇円)
中学校九〇円(月額一、六〇〇円)

なさまに絶大なるご協力をいたしておりますことにつき厚くお礼申し上げます。
つきましては、さる六月十八日に給食運営委員会を開き、昨年度の実績、納入物価状況、嗜好、他町村との比較検討、その他いろいろとご相談しました結果、昨年九月に現行の給食費に改訂しましたが、給食の主要食品類すなわち牛乳をはじめパン加工賃、食料料代の値上がりが続き、このままでは適正な学校給食運営に支障をきたすおそれもありますので、ご父兄のみなさまのご了承をいただいて二期から小学校では、一食当り七〇円を八〇円に(月額一四五〇円)中学校では、一食当り八〇円を九



新しい保育士さん 寺尾さん 右から神子さん、寺尾さん

保育所職員の一部異動がありましたのでお知らせします。
退職 (六月三十日付)
生比奈保育所 上田 芳恵
新任 (七月一日付)
生比奈保育所 寺尾 弘恵
横瀬保育所 神子家素恵

職員異動

姿勢
(二) 技術指導と指導員の身分保障について
(三) 沼江パイロットについて
(四) 敬二議員
(一) 農業振興について(農業用施設の災害についてほか)
(二) 農村工業導入法について
(三) 勝浦町議会各委員会委員はつぎのとおり決定した。
△総務常任委員(五名)
◎小関武夫、◎若木肇、平忠
山路保義、岡本照男
△厚生常任委員(四名)
◎坪内正太郎、◎佐藤寿治
中西晴美 平岡 武
△産業経済常任委員会(五名)
◎大井儀、◎滝口良一、古井治
高橋肇、味間喜久雄
△建設常任委員会
◎坂口貞雄 ◎西浜勝己
岡敬二、山本圭一
△勝浦川総合開発特別委員会
◎岡敬二、◎西浜勝己、高橋肇
◎坂口貞雄、佐藤寿治、小関武夫、岡本照男
◎印は委員長、◎印は副委員長
議会事務局
○円に(月額一六〇〇円)改めることになりましたのでご報告申しあげます。
なお、毎月みなさま方よりいただいております給食費は純食原材料費に充て、従事職員の給与センターの維持管理、備品、消耗品等の代金はすべて町費で運営いたしますのでご了承ください。
ご父兄各位には、時節から出費多端とは存じますが、趣旨ご理解のうえ、よろしくお願い申し上げます。
教育委員会

風水害に備えて

避難場所と経路の確認を



毎年、八・九月頃になると、南太平洋に熱帯性低気圧が発生して、それが北上するにしたがい発達し台風になり、そのうち幾つかが襲来して、大きな災害が起きております。

本町の地形は、急峻な山脈が縦走しているため、河川、谷川が急流であり、小量の雨でも、すぐに河川、谷川は氾濫し水害が発生する恐れがあります。

そこで、災害に備えて平素から次のような点に注意して、避難を考えておく必要があります。

① 住居付近の地形からみて、どのような災害が起こるかをよく知り、災害が起こった場合の

安全な避難場所、避難方法、および、避難経路を確認しておく。

② 消防、警察、その他、防災関係者の指示に従い、早期に避難できるような必要最小限の携行品を、非常袋などに入れて準備しておく。

〔避難場所は次のとおり〕

坂本小学校、与川内公会堂、横瀬小学校、旧横瀬公民館、中山公会堂、棚野公会堂、福祉センター、勝浦中学校、生名公会堂、星谷公会堂、生比奈小学校、老人いこいの家、勝浦会館、山西公会堂、今山公会堂、掛谷公会堂、沼江センター、石原センター。

総務課

夏季特別講座〈水泳教室〉

この方法を守れば、泳げない子どもでも、三日あれば、泳げるようになります。



三歳児以上、小学校低学年の子どもさんをお持ちのおとうさん、おかあさん、次のことから順番に教えてくだされば、子どもが水をこわがらず、三日間で泳げるようになります。

第一日。(空気中での練習)

◆呼吸停止の練習

子どもさんと一緒に「ファン」といって呼吸停止をさせ、できれば、腕時計などで何秒停止していたかを計ってやる。



プールでの水泳訓練 生比奈小学校

そのあと、鼻で「ファン」、口で「バア」といって、水中へ顔をつけたとき鼻の穴へはいつている水を「ファン」といわせて吹き出させ、「バア」といって肺の空気を吐き出させる練習を何回もくり返して行なわせると、空気中ですから、子どももすぐなれてきます。

◆次に風呂場とか洗面所で

洗面器にいっぱい水を張り、呼吸を停止したまま水に顔をつけ顔をあげるとすばやく「ファン」「バア」といわれます。この場合できれば、おとうさんか、おかあさんが一緒にやって見せると、子どももついてするようになります。

ここで決して子ども顔を水へむりにつっこんだり、水をかけたりしないでください。子どもが水をこわがり、あとの指導が非常にむづかしくなります。

◆水切り

子どもが洗面器から顔をあげると「ファン」「バア」をいわせるとのち両手で眉毛の上を横に、「水切り」をさせます。そうすると頭から流れてくる水が眼にはいりません。ここで顔を洗うように「プルプル」とやっているのを、よくみかけますが、よこれたところで泳いでいた場合、眼にバイキングがはいって眼の病気を起こす原因になります。

◆水の中で眼を開ける練習

呼吸停止「ファン」「バア」水切りができるようになりますとおとうさんかおかあさんが自分の手を洗面器の中へ入れておいて子どもが顔をつけると、グー、チョキ、パーをして子どもに見させます。子どもは水の中で眼を開けるのをいやがりませんが、眼をつむつたままでは歩けないことを教え、水の中でも眼を開けていないと、人と衝突したり岩に頭をぶつつけて怪我をしないようにするためだ、と教えてあげてください。

第二日 (水中での練習)

◆水に浮く練習

今までのことができませんと、次に子どもさんを水に入れてください。

人はみんな浮きますから、呼吸を停止させ、両膝を両手でかかえ身体を丸くして頭を水の中へいれますと、はじめは少し、沈みますが、背中が「ポツカリ」と浮いてきます。こうして子どもに自分は浮くのだ、という自信

をもたせてください。この場合水の深さは、子どもさんの胸ぐらいがよろしい。次に手足を伸ばして顔をつけさせましょう。

手足を伸ばして水に浮く練習のとき、顔をあげるときは、必ず、膝をまげて地面をふみしめてから立ちあがるように指導してください。

第三日

◆前へ進む練習

両手、両足を伸ばして水に浮きますと、足はそのままにして、両手で平泳ぎのように一度水をかかしてください。このとき指はみんなひつつけて、ちょうど手水をすくうように少し内側へまげた状態で一度水をかかせるかいた手が「きおつけ」をしたように、身体にひつつけますと三歳くらいの子でも一メートルくらい前へ進みます。

次に足は、バタアシをさせ、手と両方で水をかきますと、一呼吸で三メートルから五メートルも泳げるようになります。

横瀬駐在 湯浅部長



水の事故から子どもを守りましょう

うんしゅうみかん

摘果推進大会開催

さる、七月十九日徳島県ならびに、徳島県果樹研究連合会主催によるうんしゅうみかん栽培近代化現地研究会および、摘果推進大会が開催されました。

午前十時から、県果樹試験場において、多目的スプリングラ

ーの実演をはじめ、不良系統樹の高接更新法などが現地研究され、午後一時から佐那河内、徳島市、小松島市、阿南市、上勝町のみかん農家約三〇〇名が住民福祉センターに集まり武市知事、中西県会議員、堺町長の歓迎のあいさつにつづき、摘果について、各市町村代表がそれぞれ研究発表を行ない、勝浦町を

一致採択され会場を一段とひきしめた。

大会のスローガンは、今後恒常的に三百万トンの生産量が予想されることからつぎの四項目が掲げられた。

- 一、品質向上、採取労力の節減は摘果から
- 一、うんしゅうみかんの自主生産調整は摘果から
- 一、銘柄産地の信用は摘果から
- 一、販売競争、最後の勝利は摘果から



会場満員のうんしゅうみかん摘果推進大会

昭和48年度

勝浦町畜産組合定期総会開催

去る七月四日住民福祉センターにおいて、昭和四十八年度勝浦町畜産組合定期総会が開催されました。議事内容、新役員は次のとおりです。

- 昭和四十七年度事業報告の承認について
- 昭和四十七年度収支決算の承認について
- 昭和四十八年度事業計画(案)について
- 昭和四十八年度収支予算

役職員	住所	氏名	備考
理事	横瀬	溝田 義昭	組合長
"	生名	山本 肇	副組合長
"	生名	増井 正	
"	坂本	山口 幸男	
"	横瀬	藤野 貞雄	
支部長	石原	松下 一一	
"	久国	久保 善七	
"	生名	尾山 広見	
"	生名	岩本 健二	
"	星谷	山本 清	
"	中山	北内 正雄	
"	坂本	東条 秀夫	
監事	生名	清水良五郎	
"	坂本	阿部 勝	

(案)について
○役員改選について

養まん施設での事故防止!!



現在、勝浦町内には、二十数箇書の養まん場がつけられていますが、最近一部の箇所では、子どもたちの遊び場となっているようで、すでに一件の事故が発生しています。町産業課では、事故防止について、養まん業者を指導し、危険注意の立札を立てています。養まん施設は、モーター等の機械が設置されており非常に危険ですから、泳ぐことはもちろん、子どもは絶対に近づけないようご協力をお願いします。

産業課

「うちわ」で明正選挙運動を呼びかけ

昭和四十八年度勝浦町青年会(坂口昇会長百名)は、社会活動の一つとして選挙常時啓発事業計画をたてています。

七、八月事業として、県選挙管理委員会、町選管町を明るく正しい選挙推進協議会の協力指導による選挙啓発の事業として、勝浦町内全戸に明正選挙と政治に関する意識の向上をねらい、一枚の「うちわ」を資料とともに配布し、青年自身はもとより、

町民のかたがたに明るく正しい選挙の必要性と町政への関心をもち棄権しないで、自由な意志で一票を投票できる人間をつくることを願いました。

町内青年有権者みなさまの積極的なご協力をお願いします。



町内全戸に配布される明正選挙運動のうちわ



今月の農作業メモ

◆柑橘(第二回根の伸長期、夏芽伸長終期、果実肥大期)

一、摘果

前月に引き続き他の作業に優先し行ないましょう。全国的な作況も豊作型であり、三百万トンを上回る収穫量が見込まれ、「小玉果」や「不良品」は市場から締め出されることは必至です。「摘果作業がみかんを高く売するための生産調整に役立っているのだ。自分も積極的に協力しているのだ」との自覚のもとに今月いっぱい大いに努力を続けてください。

詳細については前月号に掲載したとおりです。

二、病虫害防除

本年は異常気象のため(カラ梅雨と高温つづき)ダニ類の発生が非常に多く、どんな農薬でも効果のあらわれにくい年です。じょうずなダニ類防除は、早期に量をたっぷり散布することです。どうか手抜かりのないようにしてください。

○ヤノネカイガラムシは、下旬〜九月上旬にビニフェート乳剤千五百倍液を散布する



豊作が予想されているミカン

○ダニ類はケルセン乳剤千五百倍液を散布する。

○サンホーゼカイガラムシ、コナカイガラムシは、中旬にエルサン水和剤八百倍液を散布する。

※コクテン病、カイガラムシ、ダニ類を同時に防除するときは、トローラック乳剤八百倍液にジマンゲイセンとする。ただし、トローラックは収穫前四十五日以内に使用してはならない。

※ダイセン類は、散布後二百mmの降雨があれば残効力は激減する。

※トゲコナジラミ、ルビーロウムシ発生園では、天敵の放飼を行なうのが効果的であるので申し出てください。

※ケルセン乳剤の散布について

は、確実に効果をあげるため、使用前に試験散布を行ない、殺虫力の確認をしてから散布するか、技術補助員や、農業センターへお問い合わせください。

三、草生栽培用種子の播種
下旬より九月上旬に、レンゲ、ヘアリーベッチ等を10aあたり四〇程度播種する。

◆水稻(穂孕期、出穂期)

一、病虫害防除(一〇aあたり) 〇二化メイチュウ、ウンカ、ヨコバイ、イモチ病は出穂前にキタスマリナック粉剤四kgを散布する。

〇白葉枯病は、サンケル粉剤四kgを台風前後に散布する。

※七月下旬に、モンガレ、ウンカ、ヨコバイ類の防除のできていない水田では、上旬にアソバツサ粉剤四kgを散布する。

二、穂肥の施用(一〇aあたり) 出穂前二十五日頃に肥沢田はNK化成二号を十五kg、沃通田ではNK化成二号を七kgを施用する。本町で栽培されている主要品種の出穂日はだいたいつきのとおりです。

日本晴、八月二十日頃

ヤマビコ

コトアキモチ 八月二十五日頃

サチワタリ

アケボー、九月五日頃

◆柿(果実肥大期)

病虫害防除

へタムシ、フジコナカイガラムシは上旬にパダン千倍液を散布する。

◆コンニャク

病虫害防除
台風の前後に四一六式石灰ボ

ルドー液散布を行なう。
農業センターTEL三三五八

果樹園近代化作業道(園内道取合道)の施工申し込み

八月三十一日まで

みかんの産地間競争に打ち勝ち、安定した農業として発展していくためには、思いきった老木園の改植、優良品種系統更新と基盤整備等果樹園の近代化を急がなければなりません。本町では、果樹振興計画の一環として、果樹園近代化作業道整備事業三カ年計画を策定し、それら事業費に対して五分の一の補助率でその推進をはかっています。県単事業の実施基準は、つぎのとおりです。

郵便がまちがって配達されたかたにお願い

配達されたかたにお願い

郵便局では誤配達防止にじゅうぶん注意していますが、たくさんさんの郵便物の中には、転居しても郵便局へ転居届が出されていなかったり、表札やアパートの番号の表示がはっきりしなかったり、あるいは配達員の不注意等のため誤ったところに配達してしまうものがあります。誤配達をうけたかたは、ご迷惑でも、なるべく早くそのことを表示してポストに入れるとか、あるいは誤配達されたことをお

妊娠中毒症等

医療費の給付



妊婦の妊娠中毒症および、糖尿病は未熟児出生の最大原因です。これらの疾病に、り患している妊婦が、早期に適正な療養を受け、妊娠中毒症等の重症化を防ぎ、妊産婦死亡や、未熟児、先天性奇形児の発生を防止することを目的として、これら病者に対し、公費による治療がみとめられるようになります。

この医療費給付の対象となる者は、妊娠中毒症、および、糖尿病にり患し保険医療機関において、治療を受けている妊産婦となっております。

事務手続等については役場住民福祉課へお問い合わせください。

「妊婦一般健康診査受診票」の交付



妊婦の一般健康診査は、市町村民税が、前年度所得割額五〇〇〇円以下の世帯の該当者を対象としていましたが、このたび、税金に関係なく全部の人に交付しますから、今までに妊娠届をされている方で、まだ受診票をもらっていない方は、役場住民福祉課でお受けとってください。



快適な夏の環境づくりは 全町一斉清掃で!!

梅雨明けと同時に猛暑の季節になりました。快適な環境づくりを目指して、町民のみならずのご協力を得、全町一斉清掃を推し進めてまいりましたが、本年度第四回目の全町一斉清掃をきたる八月十九日(日曜日)午前八時から正后までの間、各地で行ないます。伝染病源である蚊やハエをなくし清潔な夏をすごしましょう。また、スイカなど水分の多いものは、すぐ埋めてください。

住民福祉課

かせやまこども会会長米川満(五十二名)が、せいそうほうし



カーブミラーのねがい

今年の春、三十五基のミラー兄弟といっしょに、勝浦町でお世話になっているカーブミラーです。ぼくのつとめは、ご承知の曲ったカーブの頂点に立たされて、対面交通車輛の事故防止、いわゆる正面衝突を未然に防ぐのがぼくの役目である、毎日突っ立っているとヒヤッとすることしばしばである、せつかく立っているのにはよくに注意しない、ウインクをしてください運ちゃんがいる、だから対向する車とバツタリ!!道が狭いから中央線がない、そこでぼくの

存在があるのにとすると残念でたまらぬ、こうした事例は比較的初心の運転者に多いので心してほしいものである。次はぼくが交通安全のために役立っているなかで誠に口惜しいことがある。それは青少年のいたずらだわさわざのび上ってぼくの顔を石で叩いたり、小突いたり、遠方から投げつける奴がいる。いたずら盛りの子どもや若者のいたずらが許せない、口がきけないだけに余けいに腹が立つ、見てくれぼくの兄弟が顔に大きな穴があき、割れているのを、ぼ



岡目八目(六)

喜寿の歳となりての反省

勝浦郡老人クラブ連合会長

市川 歎 雄



わたしは常に、日本国民の一員に生れしことを感謝して、いますとともに、年代相応にふじゅうぶんながら国民としての義務もつとめたつもりで者です。

明治二十九年六月十四日棚野村大字三溪二二番屋敷に生を受け横瀬町とかわり現在は勝浦町大字三溪字市の江七九の愚老です。

当時、半農半商の家でしたから、幼児の頃店へこられる在町の人男子二名の老人のまげすがたをたびたびと見ていました。

当時の勝浦郡道も坂本村の宮の下が終点で、二、七米巾でわずかばかりの大八車と早朝に上勝方面より肩による横瀬道の運送人もみうけました。しかるに現在の徳島県道、上賀賀線を目前にするわたくし等老人、子ども日々の心労お察しください。

さて、小学修業中二学年当時、明治三十八年一月日露大戦順隠落国を揚げての祝典旗行列と日露戦大勝後の日本の外借金二億円は子ども心にも忘れ得ぬ事、当時勤儉貯蓄奨励のため全国まわりの金森先生の講演を学校で学びました。一億円の金、当時の一円紙幣で積み重ねてみると、富士山の高さを越すと談されておどろいた者ですが、現在の日本国の経済を見わたすと大東亜敗戦直後のわたくし等国民全員の衣、食に事かきしを忘れ勝ちになる現世と変り、個人所得億万長者数えきれなきありさま、したがって、国県町の一年の歳費数字的に読みとる事すらできません。さて、わたしが小学校卒業時分青年団設立ならびに、各傍示ごとに、私設消防組編制ができていました。いずれも会員となりかつまた、世話もしました。次に世帯人時代は、一農夫として産業組合また、出荷組合農業協同組合と時勢にそくした同志活動にいそしみましたが、よる歳波には勝てませんでした。還暦時昭和三十一年頃故谷孝平先生発唱の横瀬長寿クラブ員にくわえていただき、同志諸君と親和し研修をつづけていま

すが、みなさまご承知のとおり、ありがたくも本年は、日本国総揚げで社会福祉元年となえらる、とともに、老人福祉のわずかの恩恵を授かりありがたく、日々の安らぎをもった生きがいを感じつつ、町内老人クラブ会員諸氏と手をにぎり合わせて、自分の心身は各自がまもりかつできうる事は社会奉仕の信念を忘れず実行する。なお、研修にも励む事を第一のモットーとして、世話を受けたたり世話したりで百歳を目標として進む考えであります。しかるうち、四国本州間の大橋を渡る事を得て大笑いのさけびも夢ではなからんと思

います。町内の未加入の老人かたがたは、各区地クラブに加入くださって、勝浦町老人の底力の發揮をとともにも願います。愚筆の終りにのぞみ人として和の心情を第一と思ひます。

スポーツだより

勝浦町体協 野球チーム

四国大会で活躍

昭和四十八年度から、軟式野球の勝浦タイガース、生比奈クラブが大団結して勝浦町体協チームとして発足し、県下社会人野球の各大会に積極的に参加して活躍しております。去る七月八日県宮蔵本球場にて開催の高松宮杯四国予選大会に県代

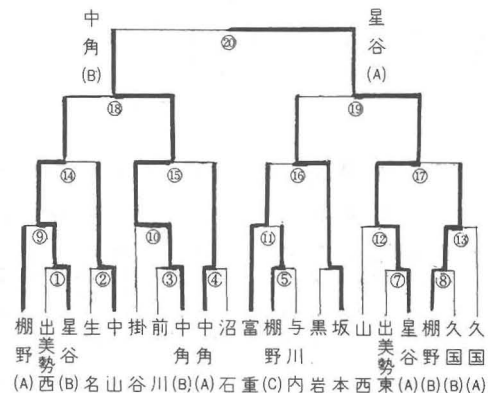
表として出場、一回戦高知県代表安田町体協チームと対戦し、三対一で快勝し、優勝戦に進出香川県代表、丸亀銘菓と対戦、おしくも八対五にて準優勝となり、全国大会出場のチャンスを得ました。今後更に練習にはげみ戦績をあげる努力を続けています。

町内ソフトボール大会 (ナイター)

盛大に終了

去る七月三日より町体協主催で町内地区対抗ミックスソフト

地区対抗ソフトボール大会抽せん組合表



ボール大会が二十一チームの参加のもとで、毎夜ナイター設備を利用して熱戦を展開し、左記のとおり星谷Aチームが優勝し、体協会長より優勝旗が授与された。

意とチームの団結が光っていた。社会教育課



スポーツ少年団 (勝浦タイガース) 野球大会 A級王座

決定戦に優勝!

勝浦スポーツ少年団、勝浦タイガース(堺徹監督)は、A級王座決定野球大会に出場。県下選抜十六チームの中を勝ち進み、六月二十四日和田島航空球場でおこなわれた優勝戦で、富田テアーズに四対三で勝ち優勝する。日ごろの監督の熱



王座決定戦でみごと優勝した勝浦タイガース

YHK

横瀬小放送開局
各教室にカラーテレビ



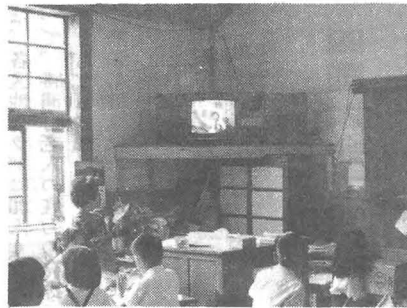
スタジオオ指導殿川武男教諭
定作州見部長・十一人

横瀬小学校(埴淵政美校長、三百二十四人)にカラーテレビのVTR(ビデオテープレコーダー)装置が取りつけられ、七月十七日開局。

この装置は、同町が児童の視聴覚教育に役立てるため生比奈小学校に次いで設備したもので二百四十万円でカメラ、ビデオコーダー、各教室に備えるカラーテレビ十一台を購入。

同校では児童の発表能力を伸ばすため自主番組の制作に力を入れ、全児童が出演できるように

同校では児童の発表能力を伸ばすため自主番組の制作に力を入れ、全児童が出演できるように



テレビに見入る児童

歌や劇、またクラブ活動の状況などを放送する。カラーテレビの校内放送は県下でも珍しく、自主番組のほかNHKの教育番組を録画して学級ごとに必要な時間に放送することになっています。

四国電力だより

感電や火災事故を
なくするため
漏電しや断器を
取り付けましょう

電気による火災事故や感電を防止するため、四十八年二月より電気設備の規則が改正され、次の設備には漏電しや断器(漏電すると電気がとまり感電や火災事故を防ぐ装置)を取り付けなければならなくなりました。みなさまがたには是非お取り付

けいいただき、電気を安全、便利にご使用くださいますようお願いいたします。

◎漏電しや断器の取り付けが必要な電気設備の例

○農事用電力設備 (かんがい・脱穀)



◎屋外に施設する電動機設備
◎その他湿気、水気のある場所の電気設備
※漏電しや断器のお取り付けについてのご相談はもよりの四国電力または電気工事店へご相談ください

ご結婚おめでとう

- 沼江 森脇 克久
- 沼江 森野 照美
- 小松島市松本 泰治
- 中角 伊丹さわみ
- 星谷 井上 茂夫
- 星谷 徳山まさよ
- 星谷 谷崎 延宏
- 小松島市山本シゲ子

お誕生おめでとう

沼江 上村 正実 長男 和也

- 棚野 太良尾恒博 二女 教子
- 坂本 椎平 誠昭 二女 千代
- 棚野 堺 英二 長男 重之
- 三溪 錦内 淳善 二男 紀普
- 三溪 藤本 忠 長女 恵美子
- 三溪 鶴居 嘉昭 長女 朋子
- 三溪 鶴居 嘉昭 二女 昌子

おくやみ申します

- 坂本 河野 利一 75才
- 三溪 山本 弘 62才
- 生名 小林政次郎 75才

勝浦

俳壇

出詠は毎月五日までに三句ハガキで送り先 勝浦町三溪(都景)まで
今回は短歌 町内在住の方に限ります
ます。振つてご投句ください。

立札は水泳禁止夏の川
探し当し一書の表紙かびるまま
古郷の溪流清し鮎をとる
遺稿かび死後の月日の立ちやすき
白鷺や青田の波に一羽二羽
朝飽とるまでに見廻る青田かな飯
退院に取出す靴のかび臭き
吊り橋へ出る道細し合歓の花
青田広々視野を遮る何もなし
転び来る如く波打つ青田風
合歓の花分校教師米を研ぐ
虹の輪の中に我家と青田あり
片陰の街ウインドを見て通る
城跡の只静かなり草いきれ
銀河過去へ流る、山の廃校舎
挑発と思えば哀し夏衣

- 生名 天羽 百歩
- 横瀬 桂木 狼兵
- 中山 武藤 花扇
- 掛谷 丸山 千絵
- 掛谷 駒津 光洋
- 野上 野上 光洋
- 大西 茅軒
- 橋谷 里曙
- 小室 五月
- 中田 静笑
- 小室 静笑
- 紺堂 喜堂
- 山口 湖月
- 太田 赤山人
- 丸山 香月
- 横瀬 銀星